

令和3年7月30日



市内中小企業が行う海外での販路開拓を支援します！！

～令和3年度「北九州市中小企業アジア環境ビジネス展開支援事業」及び
令和3年度「北九州市サステナブル環境ビジネス展開事業」の採択テーマ決定～

令和3年度の「北九州市中小企業アジア環境ビジネス展開支援事業」及び「北九州市サステナブル環境ビジネス展開事業」の採択テーマが決定いたしましたので、以下のとおりお知らせします。

この事業は、市内中小企業が所有する技術・製品において、海外でのニーズに合わせた現地での実証試験や、海外展開のビジネスモデル構築のためのFS（事業可能性調査）に要する費用の一部を助成するものです。市内中小企業等の価格競争力・資金力・ブランド競争力を補うことにより、海外での販路拡大を支援することを目的としています。

今年度は、新たに「北九州市サステナブル環境ビジネス展開事業」に対する助成枠を設け、「SDGs推進」と「サーキュラーエコノミー推進」の取組を進めていきます。

記

1. 公募期間

令和3年4月12日（月）～令和3年5月28日（金）

2. 採択結果（別紙1のとおり）

- ・中小企業枠 FS1件（申請件数：FS1件）
- ・サステナブル枠 FS2件（申請件数：FS2件）

3. 事業概要（別紙2のとおり）

【お問い合わせ先】

北九州市環境局環境国際戦略課

担当課長：磯部、担当係長：大谷（TEL：093-662-4020）

令和3年度「北九州市中小企業アジア環境ビジネス展開支援事業」及び

令和3年度「北九州市サステナブル環境ビジネス展開事業」

採択テーマ

1. 中小企業アジア環境ビジネス展開支援事業

| 対象事業区分 | テーマ名 | 企業名 | 事業概要 |
|--------|---|--------------|---|
| FS | 気候変動に深刻な影響を及ぼすタイ国の森林火災に対応する低環境負荷型石けん系消火剤のFS調査 | シャボン玉石けん株式会社 | タイでは大規模な森林火災が発生しており、森林に貯蔵されている多くの炭素が放出されるだけでなく、PM2.5による健康被害等が問題となっている。環境にやさしい石けん系消火剤を用いた消火技術を現地に適応できれば、タイにおける温室効果ガス発生を抑制するとともに、大気汚染の防止に貢献できる。本事業では、石けん系消火剤のニーズや販路に関する調査を行う。 |

2. サステナブル環境ビジネス展開事業

| 対象事業区分 | テーマ名 | 企業名 | 事業概要 |
|--------|------------------------------------|------------------|---|
| FS | 産業廃棄物のセメント代替原料・燃料化事業のインドネシア展開可能性調査 | アミタ株式会社 | 製造業から発生する多様な産業廃棄物を原料として、独自技術である混合技術を用いて、セメント工場向けの代替原料・燃料を製造するリサイクル事業をインドネシアにて展開させるための実現可能性調査を実施する。調査の主目的は、B3（有害）廃棄物の発生状況・処理関連市況、現地セメント会社の廃棄物利用状況の把握及び、現地パートナー候補企業の抽出・アプローチであり、調査を通してビジネス仮設立案及び事業性を検証する。 |
| FS | インドネシアの廃棄物最終処分場における資源循環可能性調査事業 | 株式会社ビートルエンジニアリング | インドネシアでは2013年までに最終処分場におけるオープンダンプを廃止する規制があるが、全国的な取り組みは遅れている。残余年数の問題も大きな課題である中、資源循環を促進する世界的な方針とのギャップもある。本事業では、バリクパパン市の最終処分場における資源循環施設のデザインを設計し、同国初のモデルを構築するとともに他都市への横展開の可能性を調査する。 |

※今年度、実証枠での応募はありませんでした。

令和3年度「北九州市中小企業アジア環境ビジネス展開支援事業」及び 令和3年度「北九州市サステナブル環境ビジネス展開事業」 事業概要

1 概要

(1) 中小企業アジア環境ビジネス展開支援事業

アジア地域等に脱炭素化技術の輸出を目指す市内中小企業を対象に、自社が所有する既存の技術・製品について、海外でのニーズに合わせた現地での実証試験、または事業可能性調査（F S）に要する費用の一部を助成するもの。

(2) サステナブル環境ビジネス展開事業

(1)の対象案件のうち、特に「SDGsの推進」または「サーキュラーエコノミー推進」に資する事業について、助成対象者の範囲を拡大し、またF Sの助成限度額を300万円に引き上げて助成するもの。

2 助成内容

| | | 中小企業アジア環境ビジネス展開支援事業 | サステナブル環境ビジネス展開事業 (新設) |
|-----------------------|-----|--|--|
| 対象事業 | 実証 | 既に国内で販売しており、それを海外展開しようとして現地で準備を進めている案件で、本事業の補助により、現地ニーズに合わせた仕様に変更して実証試験をすることで、売り先の理解が深まり、確実な販路促進につながるもの。 | |
| | F S | 既に国内で販売しており、それを海外展開するための想定国・地域におけるビジネスモデルを構築するもの。 | |
| 対象案件 | | 脱炭素に資する環境関連技術・製品 ※水ビジネス、廃棄物・リサイクル、省エネルギー・新エネルギー等 | 左記に該当するもののうち、特に「SDGsの推進」または「サーキュラーエコノミー推進」に資すると認められるもの |
| 助成対象 | | 海外で実証試験、F Sを実施する市内中小企業 ※中小企業基本法で定める中小企業で、北九州市内に事業所等があること。 | 海外で実証試験、F Sを実施する「市内中小企業」または「市内中小企業と連携する市外中小企業」 ※会社法第二条第6項に規定する大会社に該当せず、北九州市内に事業所等があること。 資本金として計上した額が5億円未満、かつ負債総額が200億円未満であること。 |
| 助成期間 | | 1年以内（令和4年3月中旬まで） | |
| 助成金額 ※助成対象経費の1/2以内 | 実証 | 助成限度額500万円 | |
| | F S | 助成限度額200万円 | 助成限度額300万円 |
| 助成対象経費 | | 土木・建築工事費、機械装置等製作・購入費、保守・改造修理費、人件費、消耗品費、旅費、外注費、諸経費 | |
| 採択予定件数 | | 1～3件 | 2～3件 |
| 予算額 | | 500万円 | 800万円 |